

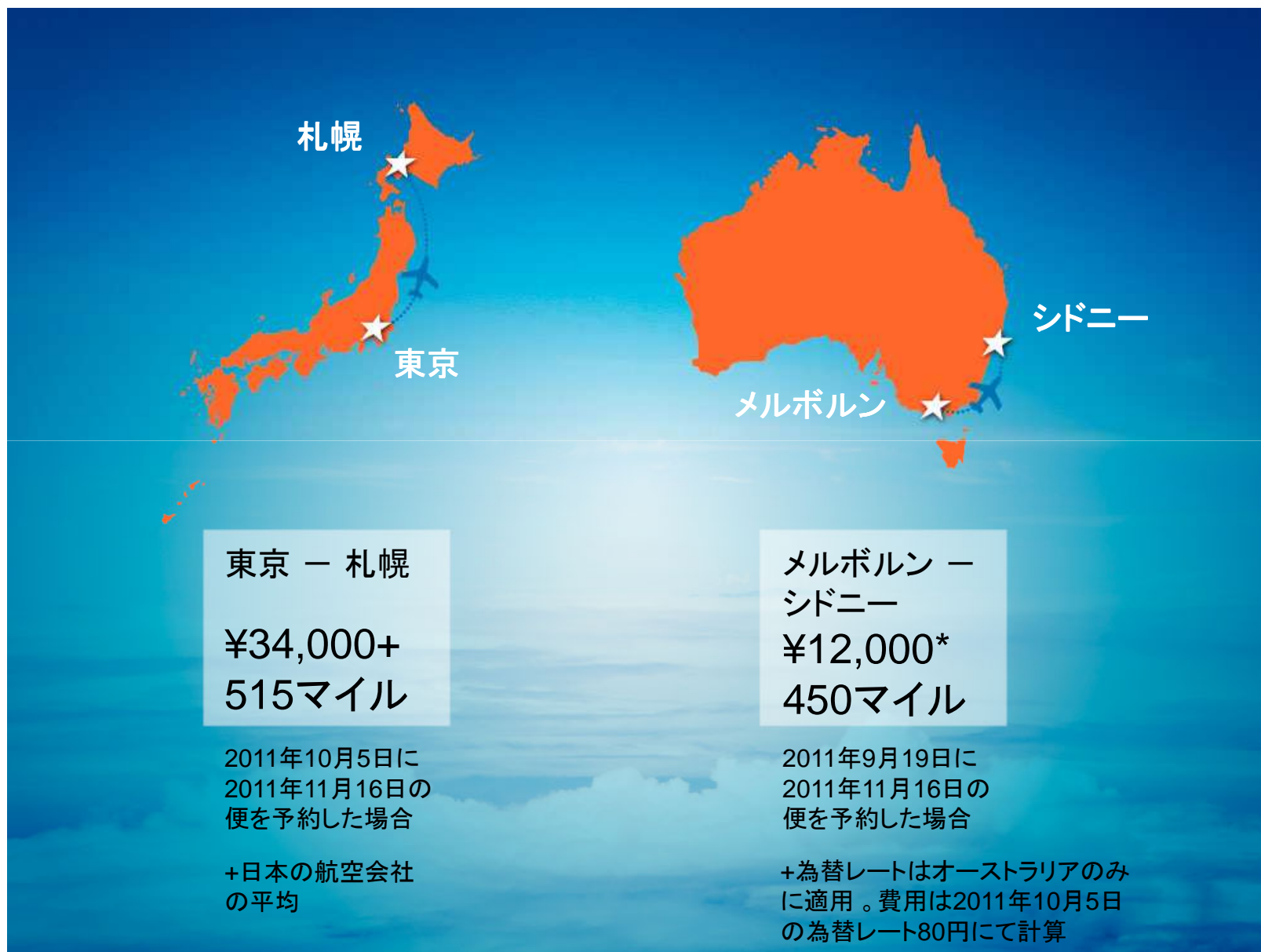


ジェットスター・ジャパン

ブルース・ブキャナン
ジェットスターグループ CEO

2011年10月11日
財団法人 運輸政策研究機構 国際問題研究所
設立20周年記念セミナー

Jetstar 



低価格運賃によって:

より多くの友人や家族を訪問

より多くの短期休暇

より多くの体験





ケアンズとグレートバリアリーフ

「ジェットスターが2011年にケアンズにもたらした経済効果は1億1,200万豪ドル(87億円)に上ります」

Tourism Tropical North Queensland
ロブ・ギアソン CEO



規制緩和のメリット

規制緩和以前のオーストラリア

- オーストラリア航空
- アンセット航空



2社の航空会社が同じ路線を運航

規制緩和後のオーストラリア

- カンタス
- ジェットスター
- ヴァージン・オーストラリア
- タイガー航空



- 政府の空港は売却
- 運賃は58%値下げ
- 旅行者が増加

航空業界の変革

- 雇用の創出
- 競争の促進
- イノベーションの推進
- 経済成長の促進



日本での規制緩和 に向けて重要となるステップ

- 技術的規制を緩和して、国外免許を持つパイロットを認める
- 海外メンテナンス会社に日本企業との競合を認める
- 空港関連コストを他の国と同水準にする



チャレンジ

- 日本でのグランドハンドリング業務にかかる費用はオーストラリアの6倍
- シンガポールと比較すると8倍



カンタスグループ — 2ブランド戦略



カンタス

忙しいビジネスエグゼクティブ向けのプレミアムエアライン: ロイヤルティプログラム、食事、アルコール類、および新聞が無料



ジェットスター

レジャー客向けに低価格料金を提供: 食事、ドリンク類、および機内エンターテインメントは有料

同様に、ジェットスター・ジャパンと日本航空はそれぞれ異なる市場をターゲットとする

さらに大きな成長



- 7,500万人 – 2004年以来の累計搭乗客数
- 1,880万人 – 2011会計年度の搭乗客数
- 26億豪ドル – 2011会計年度の売上高
- 1億6,900万豪ドル – 2011会計年度の利払税引前利益
- 56都市 – 現在の運航都市数
- No. 1 – アジア太平洋地域で最大の売上高を持つローコストキャリア

機材の拡充 - ジェットスターグループ

- 2004 年設立: 14機のボーイング717型機
- 2011 年度末: 86機のA320型機とA330型機
- 将来: 170機の航空機を発注済み
(25機のボーイング787 ドリームライナーを含む)



イノベーション

- プライスガーランティー(最低価格保証) — オンラインでの最低価格運賃を保証
- 前後ドアを使用した乗り降り — 搭乗と降機を迅速化
- 30分前チェックインルール



ジェットスターと日本

- 2007年 – 初のLCCとして日本へ就航
- オーストラリアと日本の間で200万人以上を運ぶ
- 2011年 – ジェットスター・ジャパンを発表
- 2012年 – ジェットスター・ジャパンの就航開始





質疑応答

Jetstar 